



## 3月議会安道よし子の一般質問

# 温かくておいしい入間の給食

入間市の学校給食は、小学校が自校方式、中学校はセンター方式による直営です。市外から転入したお子さんや教職員から、入間の給食は「温かくておいしい」と好評です。

### 地元食材活用・アレルギー対応

私が、工夫・努力について質問すると、教育長は、「①地元食材を活用し、冷凍食品は使わない。②人的充実。栄養士は小学校全校に配属。アレルギー除去食にも対応。③研修の充実。献立や食材調達は、栄養士と調理員が連携し、行事食や新メニューを考えたり、夏休みは調理実習に取り組むなど、給食職員の意識は高い」と答弁しました。

自校方式の優れた点は①個々に応じたアレルギー対応②行事等でメニュー変更への対応③児童の収穫した野菜を給食に取り入れるなど、『生きた教育』ができ、大変効果的」とも答えました。

私が、アレルギー対応について質す

と教育長は、「対象者は増加傾向にありアレルギーは多様で複雑」と答弁。

アレルギー対応のために全職員対象の研修会を実施。私が保護者向け研修会の実施を求めると「校長会などで検討したい」と前向きな答弁でした。

### 食器を強化磁器に改善を

25年度、豊岡小学校の食器が強化磁器食器に改善。私が、全校への早急な整備を求めると、26年度は藤沢北小学校に配置し、地域バランスを考慮し、毎年、複数に整備したい」と、今後の整備計画を明らかにしました。

### 直営・自校給食で質の維持

民間委託では、今の給食を維持することは困難。質の高い給食の維持・充実には、今後も直営・自校方式が望まれます。



### バス停にベンチ助かります！

地域の方から、「足が悪いのでバスを待つのが大変。ベンチがあると助かります」との要望が寄せられました。自治会長さんや地域の方のご尽力と社会福祉協議会のご協力により、ベンチが設置されました。地域から喜びの声が届いています。



藤沢中学校前のバス停



いつもはつらつ

あんどう

# 安道よし子の

No. 33

2014年4月号

## 市議会通信



日本共産党市議会議員

暖かな春風が心地よいこの頃になりました。一方、年金削減と消費税8%の増税が暮らしを直撃。10%増税ストップの運動に全力で取り組みます。3月議会では、「後期高齢者医療保険料の引き下げと学校給食の充実」を求め一般質問しました。ご意見・ご指導をよろしくお願いします。



## 高齢者医療保険料の引き下げを

### 87%の人は保険料均等割が負担増に

高齢者医療保険料の改定で、均等割りは87%の人が負担増に。保険料は均等割が580円引き上がり4万2440円に、所得割は8.25%から8.29%に、限度額は55万円から57万円に大幅な負担増。

に要請するよう市長に求めると、市長は、「今後高齢者は増えるので当然」と高齢者への配慮がみられません。

### 166億円で保険料引き下げを

今回の改定では、剰余金67億円のみ活用。剰余金と財政安定化基金の総額は166億円。166億円の活用で保険料引き下げは可能です。私が166億円の活用を求めると、市長は、「保険料引き上げは妥当」と冷たい答弁でした。

### 年金削減・消費増税で苦しく

受け取る年金は削減。医療・介護保険の改悪、復興増税による負担増、消費税8%で暮らしは一層厳しく。

私は、保険料の引き下げを広域連合

### みなさんの声を届けて働きます

安道よし子の連絡先 駅で宣伝してます。声をかけて下さい。

電話・Fax 04(2962)8082 携帯 090(4811)0553

## 厳しい生活応援の姿勢見られず

日本共産党は平成26年度11予算のうち、一般会計、後期高齢者医療会計・国保会計の3議案に反対しました。

### 配食サービスへの補助廃止

一般会計予算では、行政改革長期プランにそって下水道料金の見直し、小中学校の分離・統廃合の検討などが行われます。

住民税の復興増税が平成26年度から10年間、市民税均等割に500円が上乘せされます。一方で法人税の復興増税はわずか3年間だったものが、1年前倒して廃止されます。

住民基本台帳ネットワークシステム事業は26年度予算に新たなシステム改修3499万円が計上されていますが、住基カードは市民にほとんど活用されていません。

社会教育団体の公民館使用料有料を継続。配食サービス800円の弁当に400円のお年寄りへの補助が半年後廃止されます。

### 際限ない負担増の特別会計

後期高齢者医療特別会計では、26年度、均等割額が580円増で4万2440円に、所得割が8.25%から8.29%へ、限度額が55万円から57万円へと改定の度に引き上げ

ました。25年度でも保険料を滞納している人が、300人を超え、負担は限界に達しています。

国民健康保険特別会計は、加入者の所得が14年間で90万円も減額し、払いたくても払えない人の保険証を取り上げる10割負担の資格証明書が発行されています。

日本共産党は、市民生活がいつそう厳しくなるなか、保険料減免制度の拡充を強く要請しています。



わびすけの花

## 消費増税でない財政再建

4月から年金の引き下げや生活保護費の削減。国民は家計の負担が重くなる79%、家計支出を減らすが55%。「消費増税分は全額社会保障の充実に回す」の公約違反への国民の反応。8兆円負担増は来年10月から13兆円に。

日本共産党は、消費増税ではなく、「社会保障拡充と財政再建の財源を示した経済提言」を主張。巨大開発などのムダづかい見直し、大企業・大金持ちに応分の負担を求める税制改革こそ進めるべき。国民の所得を増やして日本経済を立て直せば、税収も増やすことができます。政治を変えましょう。

## 共産党議員の一般質問

石田よしお議員

ブラック企業規制し、若者を守れ！

小出わたる議員

住宅リフォーム助成、学童年齢拡大

安道よし子議員

後期高齢者医療・学校給食の充実

吉沢かつら議員

公的保育と保育の質を守るために

## 子ども医療費助成を国の制度に

共産党が提案した「子ども医療費助成制度の創設を求める意見書」が採択されました。多くの自治体で子ども医療費無料制度が実施されています。これを国の制度にして、全ての子どもに等しく医療を保障するよう求めています。

請願を受け提案された「容器リサイクル法の改正を求める意見書」も採択されました。共産党は「レジ袋の有料化」が明記されていることから請願には反対しましたが、意見書ではこの文言が修正されたことから賛成しました。

## 市民の切実な願いを届け26年度予算化へ

26年度予算に日本共産党市議団と市民が強く要望してきた小中学校へのエアコン設置の予算が、2教室分108万円計上されました。全ての学校の普通教室へのエアコン設置に向け一歩前進です。



エアコン設置を請

介護保険関連予算では、切実な市民要望が一部実り、特養ホーム

2施設、210床拡充します。

今議会で「地域福祉基金条例」の全部改正が全会一致で可決されました。利息による事業を改正して、1億5000万円の基金を取り崩し、福祉施策の充実のために活用できることとなります。

党市議団はこれまで毎年、基金を取り崩し市民福祉の向上に活用するよう求めてきました。長年の指摘が条例改正に反映されました。今後、基金は地域福祉の充実にかされることとなります。

## 日本共産党市議会報告

2014年4月 発行/日本共産党入間市議団  
連絡先/電話2966-1250 Fax2963-6653

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883